

水道事業について

長期的な水道事業のあり方の検討を！

■長期的視点に基づく検討を！

本市で利用されている水道水の供給源は、

- 淀川を水源とする、阪神水道企業団(以下、阪水)からの購入分⇒85%
- 一庫ダムを水源とする、兵庫県営水道(以下、ひとくら県水)からの購入分⇒8%
- 鳴尾・丸山両浄水場を水源とする、市自身による浄水・供給分(以下、自己水)⇒7%

となっています。自己水の割合は僅かである上、**阪水・県水からの購入分に比べて1m当りの単価が大幅に高いのです**(資料④参照)。

本市の将来人口は減少が予想されており、必要な水の量も少なくなります。そうなれば割安な阪水・県水からの購入分で必要な水量が確保可能となることも考えられます。**市は、自己水の必要性も含めた長期的な水道事業のあり方を検討するべきです。**指摘に対して市は、自己水が割高であることを認めた上で、

- 危機管理上、自己水は必要
- 自己水の供給価格の低減に努める

という考えを示しました。引き続き、この問題に取り組んでまいります。

【資料④】水源別・単価比較(2013年度実績)

地域	水源	1m ³ 当り単価
南部市域	阪神水道企業団	65.44円
	自己水(鳴尾浄水場)	100.91円
北部市域	兵庫県営水道	138.43円
	自己水(丸山浄水場)	355.06円
参考	自己水全体	158.51円

南部・北部市域とも自己水の1m³当り単価が阪水・県水の1m³当り単価より圧倒的に高い。

■諸事雑感

9月議会において、西宮市議会の議員定数を1議席削減するための議案が提出され、賛成多数で可決・成立しました。これによって来年4月実施予定の統一地方選挙の際に、西宮市議会の議員定数を現在の42議席から1議席削減し、41議席に改めることが決定しました。

4月に行われた市長選挙に2名の市議会議員が出馬したため、現在の西宮市議会議員は40名となっています。こうした状況を踏まえ、最低でも定数を2削減し40議席以下にしたいと考え行動しましたが、多数の賛同を得ることができない1議席削減に止まったことは残念だと思っています。一方で、僅か1議席ではありますが定数削減を実現できたことは一定の成果だとも考えています。

今後も一層の議員定数削減に取り組んでいくこととお約束します。

澁谷 祐介:西宮市議会議員/三期目

- 昭和48年12月26日生まれ。B型・山羊座。
- 妻・長男・次男の四大家族。
- 市立浜脇小・浜脇中・私立明星高・京都大学経済学部卒業。
- 平成8年4月より平成16年8月まで阪急電鉄株式会社勤務。
書店ブックファースト・アズナス(コンビニ)等、小売事業を中心にキャリアを積む。
- 平成16年11月、西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。現在三期目。
- 好きな言葉:一利を興すは一害を除くに如かず、大道無門
- 好きな作家:司馬遼太郎、浅田次郎、黒川博行、篠田節子、山崎豊子 他多数
- 尊敬する人物:織田信長、大久保利通

しづや祐介事務所:〒662-0927 西宮市久保町1-16-202

- 市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。ご連絡は、以下までお願いします。
★mail:shibuya@room.ocn.ne.jp
★tel:0798-22-7895
(恐れ入りますが、不在時は、留守番電話にメッセージをお願いします。)
- ★ブログ・facebookへのコメントにはお答えできない場合があります。回答をお求めの場合はmail・メッセージもしくはtelにてお問い合わせください。

西宮市議会議員

しづや祐介

市政報告39号×2014年10月

私たちが暮らす、西宮の未来のために。

しづや祐介の活動日記

<http://blog.goo.ne.jp/shibuya1973>

しづや祐介

検索

<https://www.facebook.com/youusuke.shibuya.18>

浜脇小・浜脇中・明星高・京都大学卒
元阪急電鉄(株)勤務 行動する政治

TOPICS&CONTENTS

～今号の目次&内容～

◆アサヒビール工場跡地①/
激しく紛糾しました。。

◆アサヒビール工場跡地②/
現状と、私の考え

◆太陽光発電の推進/
市が先頭に立った取組みを！

◆水道事業/
長期的視点に基づく検討を！

アサヒビール工場跡地について①

新市長誕生後も、問題は続いています。

■激しく紛糾しました。。

私はアサヒビール工場跡地(以下、跡地)の取得と、跡地での病院・体育館・消防署の建設を中心とした大規模公共事業について

●厳しい財政状況の中、事業を推進することで将来世代に多額の負債を残すことになる

●計画の中心である移転後の市立病院が、公立病院の担うべき24時間対応可能な小児救急・分娩可能な産科等の機能を持っていない

●病院・体育館等が現在、位置する土地を売却することで様々な問題の発生が予想される

等の理由から一貫して反対してきました。こうした状況の下、私は4月20日投開票の西宮市長選挙において「跡地取得計画の白紙撤回」を公約に掲げる今村候補を支援し、結果、新しい市長が誕生しました。これによって跡地の取得ならびに跡地での大規模公共事業計画は速やかに中止されるかと思われました。ところが**新市長就任後も議会の多数派が跡地の取得を強く求めたため、この問題に関する議論は激しく紛糾しました。**そこで今回の市政報告では現状と私の考えをご報告します(中面に続く)。